中央地区広報

虹

（三十）

5月号

平成22年
4月20日発行
担当者
西嶋優理子
（戸山2年）

NEWS

『春のミニフェスタ』

四月十八日　都立向丘高校にて

春休みが終わり、新しい学年となって初めての地区行事『春のミニフェスタ』が先日行われました。参加校は九校。参加者の皆様、お疲れ様でした。ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。今回は“ミニ”ということもあり、十五分から二十分の作品が主でした。次回の発表会は『夏フェス』でしょうか。今から楽しみであります。

『ステーション14.』

四月二十九日　駒込高校にて

おそらく今どの学校でも、長い勧誘戦争を終えて、新入部員を迎え、新しいスタートを切ったところであろうと思います。ステーションとは、新入部員も上級生も関係なく、とにかく遊んで、しゃべって、笑って、笑う！という誰もが気軽に楽しめる行事。他では出来ない、演劇部ならではの行事です。

是非これを機に、演劇仲間を増やしてみてはいかがでしょうか？

『総会』　五月八日　共立講堂にて

各学校に案内文書が届いていると思われますが、もう一度左記のことをご確認の上、ご出席ください。

日時

平成二十二年　五月八日（土）

開場：午後一時三十分

㈠　連盟総会　二時より

㈡　講習会　二時四十五分より

㈢　研究総会　四時三十分より

場所

共立講堂（共立女子高校隣り）

『高校演劇連盟講習会

「演出・演技」』

五月十五日　都立向丘高校にて

演劇の講習会が都立向丘高校にて行われます。詳しくは、**中央地区ホームページ**“**せんたりんく**”をご覧ください。

そして、お次は

今月の特集

今回の特集で私が取り上げたのは、劇を観る前に必ず見る“**アレ**”です！

観劇や公演の際、私たちは宣伝の為に、**「ビラ、チラシ、ポスター、パンフレット」**などといった広告を手にします。

これらのものは一体どんな意味をもち、どんな役割を果たしてくれるのでしょうか？

《宣伝・広告は心理戦！！》

広告には様々な情報が書いてあります。それが演劇部公演の宣伝であること、演目、日時、場所、など細かいことまで。それらの情報を目にした私たちは、その広告の印象を受けています。この劇観ようかなと思うのも広告が影響しているからでしょう。公演する側と観劇する側の間で起こる衝突――。これが宣伝戦と呼ばれる**心理戦**の一つなのです。

《広告の種類！！》

☆“ビラ”とは

英語の「bill」、日本語の「片（ひら）」「びらびら（擬態語）」が由来とされています。単色刷りのものが多いそうです。

☆“チラシ”とは

日本語の「散らし」が由来。大きさに決まりはないが、一枚刷りで、Ａ４判やＢ５判のものが多いです。

☆“ポスター”とは

壁や柱に掲示するための広告。背景にイラスト、写真などが使用されます。一般的なポスターの大きさは、Ａ０～２判、Ｂ０～３判といった大きな判の広告を指します。

☆“パンフレット”とは

チラシの中でもホッチキス止めなど中綴じをしているものを指します。二つ折になっているかどうかではないようです。

そこで！こんな企画をつくってしまいました。

名付けて、

【中央地区広告大賞】

この企画では、発行者の独断による審査で目にとまったいくつかのビラを皆さんにご紹介致します。今後のビラ作りの参考になればと思います。（笑）

審査対象：昨年度都立新宿高校で行われた「冬フェス」、今年度都立向丘高校で行われた「春のミニフェスタ」で上演された作品のビラ。

『クオリティー高いで賞』

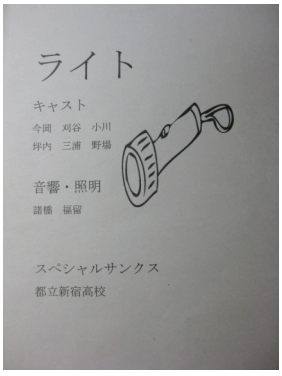
＊冬フェス　都立竹早高校さん

「Sunday Night Feverer←スペルミスではありません」

『これは斬新で賞』

＊冬フェス　日大豊山高校さん

「ライト」



『やっぱデザインで賞』

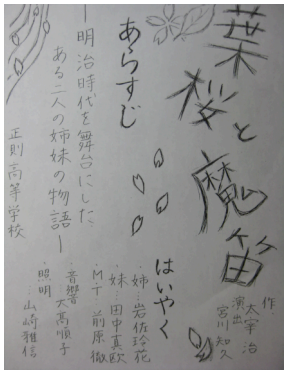
＊春のミニフェスタ　都立新宿高校さん

「悲しみのちくわ」

『劇のイメージがよく伝わるで賞』

＊春のミニフェスタ　正則高校さん

「葉桜と魔笛」



～日常茶飯事～

＊今月号の「日常茶飯事」はお休みさせて頂きます。

宣伝コーナー！！

演劇は、お客さんがいてこそ成り立つもの。どの学校さんも校内での公演があると思います。それを是非他校の人にも観に来てもらいたい！と思ったことはありませんか？

そこで、我々広報委員会は、**宣伝コーナー**を設けました。自校公演、講習会、その他諸々宣伝したいことがありましたら、**広報担当**までよろしくお願いします。

今回の「虹」はいかがでしたか？
もし広報について、意見・要望等ございましたら、
yuika_326_4ymca1@yahoo.co.jp　まで、
お申し付けください。おまちしております。

ありがとうございました！
来月号も
お楽しみに！！